

一般演題 治療装置・運用 OP7-1 高気圧酸素治療業務導入を経験して

○清水啓雄¹⁾ 安藤 誠¹⁾ 小塚麻紀¹⁾ 熱田義顕²⁾
目黒順一²⁾ 米川元樹²⁾

- | | | | |
|----|------------|--------|-------------|
| 1) | 社会医療法人 北楡会 | 札幌北楡病院 | 臨床
工学技術科 |
| 2) | 社会医療法人 北楡会 | 札幌北楡病院 | 外科 |

【緒言】

当院は一般281床・AOC人工臓器治療センター93床の中規模病院で、約270名の慢性透析患者に対し血液透析を行っている。臨床工学技術科は臨床工学技士（以下CE）が現在25名在籍しており透析・手術・内視鏡の3部門に分かれ従事している。2022年9月に血管外科医師より慢性透析患者の趾の難治性潰瘍に対し高気圧酸素治療（以下HBO）への強い要望があり2023年1月よりHBOを開始したので導入経験を報告する。

【導入準備】

3部門から候補者を集い4名にてHBOチームを発足し治療を担当することとした。まず実績のある近隣の医療機関にて実業務を見学し、同意書や患者説明用紙、マニュアル、各チェック表を医師・看護師・事務と協力し作成した。実際に治療するHBO室にはセクリスト高気圧酸素治療装置Model 3300HJを設置した。CEが治療前確認を行うHBO準備室には外来対応のため更衣室を設置した。

【治療の流れ】

医師より対象患者へ治療説明し同意書を取得する。その後CEがHBO室にて実際に装置を見せながら患者説明用紙（CE用）を用いて治療前説明を行う。治療時は病室にて看護師2名で治療前チェック表に従って治療前確認を実施する。次にHBO準備室にてCE2名で看護師が記入したチェック表を用い再度治療前確認を実施する。その後チェック漏れがないか最終確認としボディチェックを実施する。またフェイススケールを使用し治療前後の耳痛や対象部位の疼痛を確認する。治療はレート1.0psi/min、酸素換気流量275lpm、治療圧2ATM、治療時間60分にて施行する。

【実績】

2023年1月から2024年5月で合計400件HBOを施行した。末梢血管障害の難治性潰瘍への治療が273件と最も多かった。

【考察】

CEが治療前に説明を実施することで患者から「詳しい説明を受けることができ安心した」や「閉所が苦手だが実際に装置を見たらできそうだ」という声があり、CEによ

る治療前の説明は有効であった。看護師が治療前確認時に禁止物の着用を見逃がした事例もあったがCEによる治療前確認とボディチェック時に発見することができ、禁止物の装置内への持ち込みを防ぐことができた。事前チェックを複数回行うことで患者の安全が守られたと考える。

【結語】

HBO未経験でも多職種との連携・実績のある施設の協力を得て当院でもHBOを安全に行うことができた。現在開始当初のメンバーの他に新しいメンバーも加わり5名でHBOに従事している。今後はCE全員が担当できるようにしていく。